



第353号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



千年後の日本

せんねんご にほん



カット：
本多紘子

紫陽花の花の色も濃くなり梅雨入りも間近です。皆様いかがお過ごしでしょうか。農家の方は田植えの準備で忙しいですね。お寺でも小さな畑にミニトマトやナス・キュウリの夏野菜を植えました。水やりも大変ですが、自分で育てると食べ物大切に愛着が湧きます。

去年は、本場に自然災害の多い夏でした。平成18年度の災害保険金が過去最多の1.6兆円も支払われました。6月の半ばに大阪北部地震が起き、倒れたブロック塀で通学中の小学生が亡くなったり、七月上旬には西日本豪雨が発生、2000人を超す犠牲者が出ました。倉敷市でも真備町が小田川の堤防決壊で多くの家が水没しました。

9月4日には関西地方を襲った台風21号の被害は凄まじく、関西空港は高潮で水没、通路橋にタンカーが衝突し、一時は約八千人が空港に閉じこめられました。そしてその2日後に北海道胆振地方で最大震度7の大地震が発生、山崩れで集落の半分以上の命が奪われる悲劇が起こっています。加えて列島の猛暑は尋常でなく、酷い夏でした。

今年の夏はどんな夏になるのかな。もしもの大災害で、電力や水道などの経済システムや情報が機能不全となり、交通機関や金融機関・病院などが混乱する二次被害の対応力だけは高めたいものです。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

日本の国は少子高齢化が叫ばれて久しい。人口の4人に1人が65歳以上の高齢者になっています。平均寿命が延びるなか、「人生100年時代」をむかえ、長い老後を暮らせるだけの蓄えにあたる「資産寿命」を考えて欲しいと、金融庁が5月22日に指針案を発表しました。つまり、政府は年金支給額の維持が難しくなり、老後の生活費について、自分で資産を増やす努力をして欲しいという趣旨です。老人ホームや老人介護施設に入所するにはたくさん費用がかかります。老後を家族と暮らす人は少ないので、老後難民になると悲しいな。

『大無量寿経』に「人間は心愚かで、正しい教えを信じない。したがって、将来を思いはからず、目前の歓楽のみを追っている。愛欲に惑い、道徳をわきまえず、怒りに狂い、財と色を貪ることは、まるで狼のようである。そのために道が得られず、ふたたび悪道に沈んで苦しみ、いつまでも生死流転はつきない」とあります。人間は目先のことを追い、歓楽を追い求める。愛欲に惑い、人の道を踏み外し、思うようにいかなければ怒りに狂い、財産や色ごとを貪ることは狼のようだ。そのため悪道に沈んで、人間に生まれてきたことを喜ばず、苦しんで迷いながら死ぬという意味です。年寄りの老後の蓄えを狙って、特殊詐欺がふえるのも、人が畜生の狼となり寂しいことですね。

今年に入って、米国と中国の貿易摩擦が激しくなり、中国通信機器大手華為技術（ファーウェイ）のスマートフォンに、米国の安全保障上の問題から電子部品メーカーに部品の納入を禁止する通達をだしました。便利な通信機器が、先進国の大切な情報を盗み出し、対価を払わずに先端技術を取り入れ、軍事大国になる中国を畏れたのです。今、先進国が経済を優先して、儲けのためには地球環境が汚染されてもかまわないとばかりにプラスチック製品をつくり、廃棄して、海も山も汚染され、動植物が絶滅しそうです。人間が住める地球の環境を破戒しても、儲けたいという人は悲しいですね。千年後、二千年後の地球、日本や世界はどうなっているのだろう。合掌（奥原 曇龍）

『千年後日本の国はあるのかな 人と人とが信じ合えれば』 どんりゆう



カット：
奥原 綾

ともしび説法

日時・六月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
七月十一日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 32

三十五歳で覚りを開かれたお釈迦様は、かつて一緒に修行した旧友の五人の比丘を尋ねて、ベナレス郊外の鹿野苑まで、長い道のりを歩いて行かれました。

お釈迦様がやってくるのを見た五人は、苦行を捨てた態度を軽蔑し、お釈迦様が贅沢な生活に入ってしまったかと思いきや、立って出迎えないよう五人は堅く約束しました。

しかし、お釈迦様が近づくと、彼らはジツとして居ることが出来ず、その約束にもかかわらず、自然に立ち上がり、礼をして出迎えて衣や鉢を受け取り、座席を用意し、足を洗う水を用意します。そして、お釈迦様の自信と慈愛に満ちた説法(転法輪)に次第に耳を傾け、ついに五人は最初の弟子となります。

お釈迦様の最初の説法のことを初転法輪と呼びますが、五比丘に対して「比丘らよ、出家者が受け入れてはいけない二つの極端がある。一つは愛欲の生活にふけることであり、それは卑しくて理想に対して何の役にも立たない。いま一つは身を苦しめる苦行に専念することです。苦行は苦しむだけで理想に對してなんらの役にも立たない。私はこの二つの極端を離れ、智慧の眼を開かしめ、静寂、英知、さとりの、涅槃の理想郷に至らしめる中道を発見し体得したのである」と説法。

お釈迦様は世俗の欲楽愛欲の生活も、難行苦行も理想の道ではなく、両極端を戒められたのが中道です。つまり、琴の糸もたるんでいてはいい音が出ませんが、強く張りすぎても切れます。ちょうど張り具合のいい時に良い音が出るのに喩えています。

中道の実践方法として、四諦八正道が説かれます。四諦とは苦諦・集諦・滅諦・道諦のことです。この中の道諦を八正道として、無智や誤った要求の煩惱を完全に断絶し、心安らかな人の道を説かれました。合掌(奥原曇龍)

梅雨晴れや夕日に染まる鐘撞き堂(こころ)に響くともしび説法 田辺多恵子



4月26日 ともしび折り込みの御手伝い

ともしび法話

ジトジトした梅雨の季節。洗濯物が乾きにくいと困りますね。皆様お元氣ですか。昨年の西日本豪雨で各地が災害に遭い、倉敷市真備町でも水害からの復興で懸命に立ち上がり始めていますので、豪雨の降らぬことを願うばかりです。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

人と人との間を大切にし、人と人が支え合うのを人間だと聞いています。近頃は地域のひととの交流が少なくなり、家族葬も増えて、隣の老人がいつの間にか、この世から消えているのは寂しすぎますね。

倉敷市粒江 近藤マサ子

人として悔いの無いように生きたいと願っています。人って何ですかと問われると答えにくいですね。自分らしくありたいと思いつつ、その自分って何だろう。

倉敷市西坂 貝原富美子

昔と比べて、今はとても便利な時代なのに、忙しさに追いかけてられています。急がず、慌てず、ゆつくりゆつくり生きよう。

倉敷市早高 養田れい子

ともしび説法

日時・六月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
七月十一日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

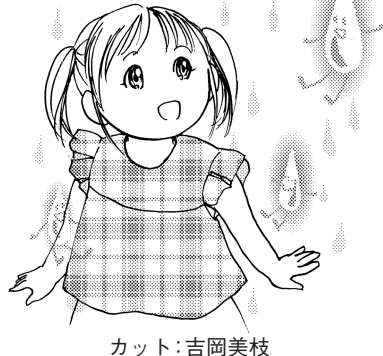
○ともしび説法・お寺の行事予定
八月 二十日(火)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
九月 五日(木)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
十月 十日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

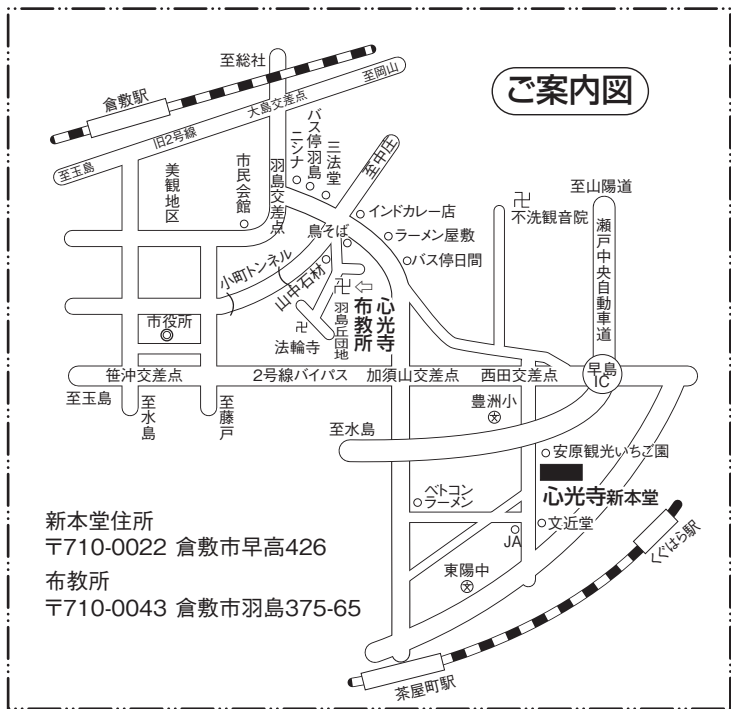


こころの詩

梅雨入りも間近
あじさいの花の色も濃くなり
今にも泣き出しそうなの
うっとうしい空に
エサを求めてツバメ飛び交う
おれたちも生きるのに必死だと
クエ、クエとカエルも鳴くよ



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 矢羽田様 早島町 竹下様 4千円
- 倉敷市 杉本マツ代様 山形田鶴子様 岡山市 小川常夫様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「353号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村健